大田区立入新井第五小学校 研究主任
2026年11月6日（金） 発行

校内研究だより＃4

外国語活動部会

第３学年　外国語活動
Unit8 「What's this？」

《授業について》

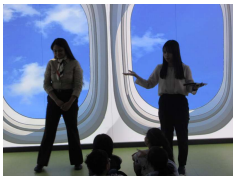
10月28日水曜日、今年度4回目となる校内研究授業を行いました。今回の校内研究は、第3学年の外国語活動として、「単元の最後に自分の好きなものをクイズにしてALTに伝えるために、What's this?クイズに答えたり、クイズを出したりする表現に慣れ親しむ」ことをねらいとして授業を行いました。今回は、その様子をお伝えいたします。

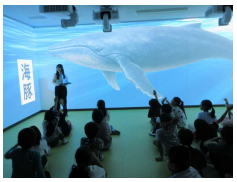
①【導入】



「Hello Song」や「What's this?」を音楽に合わせて歌った後で、単元のゴール「Alexis先生に、自分のことを知ってもらうために、自分の好きなものクイズを出そう。」と今日のゴール「世界旅行に行って、クイズに答えたり、クイズのヒントを出したりしよう。」を確認しました。大きな画面とそこに流れる音楽に合わせて歌うことで、楽しい雰囲気の中で学習をスタートすることができました。

②【展開①】







こどもたちが目を瞑っている間に、画面が飛行機の中に変わり、CAに扮したALTのアナウンスを聞き、World Tourがスタートしました。

その中で、富士山、ピラミッドを旅行し、What's this? It's Mt.Fuji.などの単語や会話の練習をしました。更に、フィリピンの海でダイビングをしながら画面に出てきた難読漢字を読み、英語の言い方、発音の仕方を学習しました。最後は、入五小に戻り、校庭に突然現れたたくさんの動物で3ヒントクイズ
(Hint please. Hint1 It's ～. Hint2 It's ～. Hint3 It's ～. What's this?)のデモンストレーションをALTと担任が行いました。

学習の途中では、3面の大画面の特性を生かして、イルカと一緒に泳いだり、オーストラリアから穴を掘ったら入五小に着いたり、教室では味わうことのできない体験をしました。また、学習全体が世界旅行という一つのストーリーになっていたことで、こどもたちはその中に入り込み、気付かぬうちに英語を使ってコミュニケーションをとっていました。

③【展開②】



デモンストレーションを参考に、こどもたちは、ペアを変えながら、3ヒントクイズを出し合いました。色や大きさ、体の特徴などを使って、上手に英語でヒントを出すことができました。

④【振り返り】



最後の本時の振り返りをワークシートに書き、発表しました。

指導・講評

◎ 授業展開がストーリーになっていたこと、こどもたちに使わせたい「What's this?」や「It's～.」を先生が自然に入れ込みながら進めていたことが良かった。

◎ ALTの英語に対して、こどもたちの理解が不十分であった場合に、担任がゆっくり繰り返したり、日本語で補足したりしていて、TTの方法として適切であった。

△ こどもたちの発話量が少なかった。ワールドツアーの内容を精選し、「What can you see?」と問いかけ、こどもたちが英語を使う場面をより増やしていくとよい。

△ ALTのセリフが事前に決まっていたものだけになっていた。既習事項である「Do you like～?」の表現を意図的に入れるなど、臨機応変にやり取りをする時間を増やせるとよい。

・ コミュニケーションそのものを授業で扱うのは外国語しかない。「外国語は自己開示の時間」と捉え、こどもたちの様子をしっかり見ながら授業を展開していく必要がある。

・ こどもたちは担任よりALTの発音を自然に聞くようになる。担任は、英語に不安があっても「こどもと一緒に学ぶ」というスタンスで、楽しみながら指導することが大切。